

四国地域広域リージョン連携宣言

我が国において人口減少、少子高齢化が進行する中、地域社会の活力を維持し、将来にわたって持続可能な地域を形成していくためには、県域を超えた連携が不可欠であり、その重要性は一層高まっている。

四国地域は、多種多様な地域資源や特性を有する一方で、共通する課題に直面しており、これまでも「四国はひとつ」を合い言葉に、四国4県の官民が連携し、四国遍路の世界遺産登録の推進のほか、四国8の字ネットワークの早期実現や四国の新幹線の事業化に向けて取り組んできた。

こうした状況の下、地域資源や特性を踏まえた持続可能な四国地域を形成していくためには、「四国はひとつ」という広域的な視点で、これまでの取組を一層深化・加速させる必要がある。特に、令和7年1月に国が打ち出した都道府県域を超えた広域連携の新たな枠組みである「広域リージョン連携」は、こうした取組を力強く後押しするものである。

このため、国の「広域リージョン連携推進要綱」等を踏まえ、以下のとおり広域リージョン連携を強力に推進し、四国地域の更なる発展に向けて取り組むことを、ここに宣言する。

1. 広域リージョンの名称・区域

名称 四国地域広域リージョン

区域 徳島県、香川県、愛媛県、高知県の各県全域

2. リージョン構成団体の名称

徳島県、香川県、愛媛県、高知県、四国経済連合会、徳島県商工会議所連合会、香川県商工会議所連合会、愛媛県商工会議所連合会、高知県商工会議所連合会、（一社）四国ツーリズム創造機構

3. 広域リージョンの目指すべき姿

「地域資源や特性を踏まえた持続可能な四国地域の形成」

（趣旨）

四国地域は、美しい自然風景、独自の歴史・文化、確かな力ある産業や食等が各地に存在し、現在に受け継がれている。

こうした多種多様な地域資源や特性を活かし、四国4県が共通の課題認識の下、相互に連携した取組を進めることで、人と自然が共生し、多様な人や企業が集い、産業の活性化と豊かな暮らしを実現できる持続可能な地域を目指す。

4. 広域リージョンにおいて取り組むことを想定する分野

四国地域の特性や課題を踏まえ、広域的な防災・減災対策を図るとともに、県域を超えた連携による効果が期待される分野として、当面、次の分野を中心に広域的な取組を検討していく。

(1) 観光振興分野

地域の自然、歴史、文化等の魅力を活かし、広域的な観点から地域のブランディングや交流の拡大につながる取組について検討・実施する。

(2) 産業振興分野

地域の特性を踏まえ、広域的な観点から地域産業の持続的な発展及び地域経済の活性化につながる取組について検討・実施する。

(3) 交通分野

人流・物流の円滑化や地域間の連携強化に向け、広域的な観点から交通の利便性向上等について検討・実施する。

これらの分野については、取組の状況等を踏まえ、必要に応じて内容の見直しや分野の追加を行う。

令和8年6月5日

四国地域広域リージョン

徳島県知事 後藤田 正純

香川県知事 池田 豊人

愛媛県知事 中村 時広

高知県知事 濱田 省司

四国経済連合会会長 長井 啓介

徳島県商工会議所連合会会長 大島 浩輔

香川県商工会議所連合会会長 綾田 裕次郎

愛媛県商工会議所連合会会頭 三好 賢治

高知県商工会議所連合会会頭 西山 彰一

(一社) 四国ツーリズム創造機構代表理事 半井 真司